

2020年6月23日
'21-G2号

2021年度 研究助成成果論文表彰制度における受賞者の決定

公益財団法人生命保険文化センター（代表理事・浅野僚也）は、研究助成の成果論文表彰制度に基づき、2019年度の助成により2020年度「生命保険論集」に発表された成果論文から、下記のとおり受賞者を決定いたしました。受賞者には表彰状と副賞が授与されます。

本表彰制度は、生命保険に関する研究水準の向上及び若手研究者育成の促進を目的として実施するものです。

記

【2021年度の受賞者と受賞論文】

・最優秀論文賞： 該当者なし

・優秀論文賞： 該当者2名

受賞者 古村 聖氏（武蔵大学経済学部 准教授）

受賞論文 家族の経済学に基づく世代間関係と民間介護保険需要に関する研究
（「生命保険論集」214号，2021年3月号）

受賞者 鄭 燦玉氏（京都大学大学院法学研究科 特定助教）

* 役職は執筆当時（2021年4月から特定研究員）

受賞論文 保険者の意向把握義務のあり方に関する一考察

—ドイツの助言義務規制から示唆を得て—

（「生命保険論集」214号，2021年3月号）

・研究奨励賞： 該当者なし

以上

(注1) 当センターの研究助成制度および成果論文表彰制度につきましては当センターのホームページをご覧ください。

<https://www.jili.or.jp/research/josei/hyousyou.html>



(注2) 研究助成の成果論文は当センター発行の「生命保険論集」に掲載されています。

<https://www.jili.or.jp/research/ronsyu/>



本件に関するお問い合わせ先

〒100-0005 千代田区丸の内3-4-1

公益財団法人 生命保険文化センター

保険研究室 研究助成係 (Tel: 03-5220-8512)